

大津市庁舎整備基本計画（素案）から（案）への主な変更点一覧

NO.	ページ数	内容
1	目次	イラスト追加等によるページ数の追加
2		巻末に資料編を追加
3	1頁	4. 現庁舎や現庁舎を解体した場合の跡地等に隣接旧国有地の記載を新たに追加
4	3頁	これまでの検討の経緯の表「平成16年～」に本館柱耐震補強工事の記載を新たに追加
5	7頁	市民ワークショップの参加者について、各回の参加人数の記載を新たに追加
6	8 - 9頁	機能ごとに市民ワークショップにて出た意見をイメージしたイラストを新たに追加
7	12 - 28頁	基本コンセプトや記載事項がイメージしやすくなるようなイラストを新たに追加や修正
8	27 - 28頁	執務環境の整備による生産性の向上を実現する庁舎にて執務室のレイアウト方針に関する記載及びイメージ図を新たに追加
9	33頁	新庁舎敷地の図面の駐車場想定位置をわかりやすい記載に修正
10		懇話会からの意見により、（4）新庁舎駐車場の配置と台数について、将来の社会変化を見据えた駐車場配置についての記載を新たに追加
11	35頁	庁舎周辺のゾーニング案及びゾーニング案詳細にて検討項目や車両の進入経路についての記載を新たに追加及び庁舎北側エントランスの範囲（黄色で明示）の修正
12	36頁	上段＜鳥瞰パース＞における視点場の削除及び下段のイメージのタイトルの修正
13	40頁	（3）想定する各部署配置構成の1階北側エントランスに市民交流スペースが含まれることの記載を新たに追加
14	44 - 45頁	財源の確保に向けての記載を新たに追加
15	47頁	現時点の今年度スケジュールに合わせた記載の修正及び業者選定の記載の削除 ※予算の確保時期（8月補正予算、又は11月補正予算）や業者選定に要する期間を考慮し、基本設計の表記等を修正しました。
16	48 - 56頁	資料編として用語集と懇話会意見集を新たに追加

※その他、軽微な文言等の修正を行っています。

基本計画（案）はこちら
からご確認いただけます



① パブリックコメントの実施について

意見募集期間： 令和7年6月13日（金）から 同年7月7日（月）まで

② パブリックコメントに係る市民説明会の開催について

日 時： 令和7年6月21日（土）

午前の部（10時～）・午後の部（13時30分～） の2部制
（各1時間30分）

場 所： 大津市役所新館7階 大会議室

参 加： 午前の部 27名 午後の部 15名

<参加者からの主な意見>

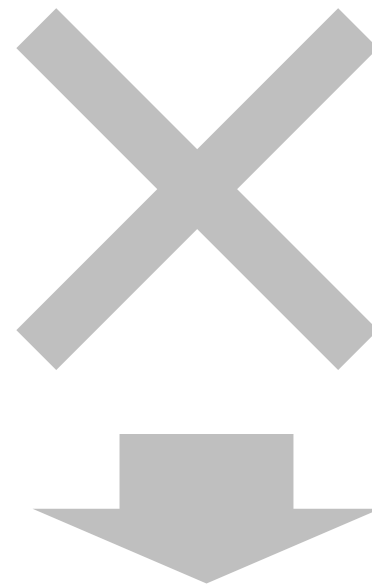
- ・ 障害者等の利便性を考えると1階に福祉エリア等があった方がよいのではないのか。
- ・ 厳しい財源に関して、想定される既存事業の廃止等の方針は示せないのか。
- ・ 市民の機運醸成を図るため、クラウドファンディングなどは活用できないのか。
- ・ 滋賀県庁が耐震改修していることから、本館も耐震改修を検討できないのか。

<基本計画コンセプト>

	基本コンセプト	基本方針
基本計画での追加	① 健康・育み・歴史文化のまちづくりの拠点となる公園と一体となった庁舎	山から琵琶湖へ至る豊かな自然や歴史文化を基礎に、皇子山総合運動公園を中心にスポーツや健康づくりの拠点となる庁舎
		市民の交流や子どもの健やかな成長を育むまちづくりの拠点となる庁舎
基本構想で定めた基本コンセプト・方針	② 災害時に機能する防災拠点としての庁舎	新庁舎と公園を一体的に活用した交流の創出などによるまちづくりの拠点となる庁舎
		自然災害に強い、災害対応に優れた庁舎
	③ 市民が親しみやすく利用しやすい庁舎	市民の安全・安心を守る拠点となる庁舎
		市民サービスの向上につながる庁舎
	④ 環境に配慮した自然に優しい庁舎	市民に開かれ、市民に親しまれる庁舎
		省エネ・省CO2 でライフサイクルコストを削減する庁舎
	⑤ 自治体DXを推進しネットワークを強化する庁舎	周辺環境と共生し、持続可能な社会を実現する庁舎
		自治体DXの推進に向けた庁舎
	⑥ 執務環境の整備による生産性の向上を実現する庁舎	支所と連携した行政サービスネットワークの拠点としての庁舎

将来に向けて負担は小さく

大津のまちの魅力は大きく



<財源の確保について>

○具体的な財源の確保については、基金（一般家庭でいう貯金）を積み立てていますが、事業費の大半を地方債（一般家庭でいう借金）で賄う必要があり、結果として、将来の財政負担が増え、市の財政運営に支障をきたすこととなります。近年の建築費の高騰など厳しい状況の中、基本設計段階での事業費の圧縮の検討が必要である。

現在の物価上昇の中において、設計者に求めるもの

イニシャルとランニングの複合的視点を踏まえ、
ライフサイクルコスト（LCC）を低減しつつ大津の魅力を最大化

デザイン による解決力
技術と経験 による解決力
柔軟なコストマネジメント能力

「コストを意識した設計・プロジェクトマネジメント力」

① 健康・育み・歴史文化のまちづくりの拠点となる公園と一体となった庁舎

山から琵琶湖へ至る
自然や歴史との調和

スポーツや健康
づくりの拠点

シンボル性
景観との調和

大津らしさ
周辺との調和

次世代を育む
まちづくり拠点

公園との
一体性

交流の創出

まちづくり
の拠点



公園と一体の建物
/天草市複合施設こころす



公園とのつながりをもつ軒下
/鎌倉市庁舎プロポーザル



地場産材の活用
/八代市庁舎

② 災害時に機能する防災拠点としての庁舎

災害に強い、
災害対応に優れた
庁舎

機能継続性の確立

市民の安全・安心
を守る拠点

防災力の向上

危機管理部署配置

皇子山総合運動公園
との防災連携

フェイズフリー



＜災害時に公園とピロティを一体的に利用できる庁舎のイメージ
/大津市庁舎整備基本計画（案）より

③ 市民が親しみやすく利用しやすい庁舎

市民利用スペース

市民に開かれ
親しまれる庁舎

多様性を
受け入れる庁舎

市民交流・市民利用

公園と一体の庁舎
ならではの市民利用

市民サービスの向上



④ 環境に配慮した自然に優しい庁舎

持続可能な社会
の実現

省エネ・省CO2

ゼロエネルギービル
ZEB化

地域独自の環境資源・
自然エネルギーの活用
(井水、恒常風など)

環境配慮
LCC・LCC02低減

ライフサイクルコ
ストの削減

周辺環境と共生



- ⑤ 自治体DXを推進しネットワークを強化する庁舎
⑥ 執務環境の整備による生産性の向上を実現する庁舎

ワンストップ
サービス

支所と連携した行政
ネットワーク拠点

職員の職務
環境整備

書かない
待たない
来なくてもいい
窓口

生産性向上
(執務環境・DX)

ペーパーレス
(面積削減)

自治体DXの
推進

